



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月8日

上場会社名 株式会社 エヌアイデイ 上場取引所 大
 コード番号 2349 URL http://www.nid.co.jp
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名）鈴木 清司
 問合せ先責任者（役職名） 取締役経理部長（氏名）下山 和郎（TEL）03（6221）6811
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	11,102	4.5	592	14.7	617	15.3	299	71.7
24年3月期第3四半期	10,626	1.3	516	△6.0	535	△5.7	174	△26.5

（注）包括利益 25年3月期第3四半期 323百万円（117.4％） 24年3月期第3四半期 148百万円（△37.6％）

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第3四半期	79	17	—	—
24年3月期第3四半期	46	12	—	—

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
25年3月期第3四半期	11,066		6,417		58.0	
24年3月期	11,108		6,264		56.4	

（参考）自己資本 25年3月期第3四半期 6,417百万円 24年3月期 6,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	—	—	—	—	—	45	00	45	00
25年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	—	—	—	—	45	00	45	00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	15,300	3.2	1,050	20.5	1,030	14.5	500	52.0	132	08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名） 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	4,369,830株	24年3月期	4,369,830株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	584,237株	24年3月期	584,237株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	3,785,593株	24年3月期3Q	3,785,593株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報」（3）連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要を背景に、緩やかに回復しつつありますが、欧州の債務問題、新興国経済の成長鈍化等海外経済の減速で、景気の先行きは依然として不透明な状況であります。

当社グループの属する情報サービス業界においては、クラウドコンピューティングやスマートフォン、タブレット端末の普及により、関連する分野の市場成長が期待されております。しかしながら、国内企業は製造業を中心に減速した状態が長引いており企業のIT投資も抑制傾向で推移し、情報サービス業界にとって厳しい事業環境が続いております。

こうした状況の中、当社グループは、引き続き既存顧客に対する現場営業の徹底と、「とる営業」から「生み出す営業」への転換などにより営業体制を強化し、受注獲得に努めました。平成24年8月には本社を移転し各事業拠点を集約することで、経営資源の共有と業務効率化をはかりました。また、移転を機にプロジェクト毎の専用ルームを新設し、万全な情報セキュリティで顧客の多様なニーズへ迅速に対応できるような施策も実施しております。

また、既存分野の事業に加えて付加価値ビジネスへの取り組みも継続しており、当社グループの技術を生かしつつ新たな事業領域の拡大を目指しております。その中心として当社独自に開発した、Androidスマートフォン向けアプリの「VALiB0」(注1)とサービスプラットフォーム「Nstylist」(注2)、デジタルコンテンツカード「Decoca」(注3)の販売展開に注力いたしました。

前期から継続する震災に起因するNID東北の不振がありましたが、通信システム事業と情報システム事業、ネットワークソリューション事業の受注が好調に推移し、売上、利益とも前年同四半期を上回る結果となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高11,102百万円(対前年同四半期比4.5%増)、営業利益592百万円(同14.7%増)、経常利益617百万円(同15.3%増)となりました。また、特別損失として、本社移転統合に伴う費用を計上する一方、法定実効税率の変更による影響があった前年同期に比べ法人税等合計が減少した結果、四半期純利益299百万円(同71.7%増)となりました。

尚、第2四半期において61百万円の投資有価証券評価損を計上しておりましたが、当第3四半期において、株価の回復が認められたため同額の戻入れが生じています。

注1 「VALiB0」:Androidスマートフォン向けアプリケーション。スマートフォンの待受画面の新しい活用スタイルを提供するもので、インストールすることで最大8面分、選択したブランド(企業)の待受画面を設置できます。それぞれのブランドが提供する待受画面の情報は自動更新され、利用者は待受画像の変化を楽しんだり、すばやく最新情報をチェックすることができます。

注2 「Nstylist」:タブレットやスマートフォンなどに搭載することで、企業のニーズに対応するアプリケーションサービスを簡単に作成・提供できます。また、専用サーバーの「Nstylist server」と「Nstylist」搭載端末がダイレクトに連携し、シームレスな情報管理を実現するとともに、システムインフラの保守・運用を総合的にサポートします。AndroidとiOSに対応。

注3 「Decoca」:Androidスマートフォンの待受画面向けのコンテンツを、カード形式で販売するサービス。カードをコレクションする楽しみと、待受画面上のコンテンツの両方を楽しめる。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①通信システム事業

当事業では、自動車や医療関連の受注が増加し、モバイル関連の受注も安定的に推移しました。この結果、売上高は2,632百万円(対前年同四半期比12.9%増)、営業利益104百万円(前年同四半期は2百万円の営業利益)となりました。

②情報システム事業

当事業では、流通、製造業や生損保、共済関連の受注が増加しましたが、一部不採算プロジェクトが発生しました。この結果、売上高は2,298百万円(同9.4%増)、営業利益159百万円(同17.7%減)となりました。

③ネットワークソリューション事業

当事業では、官公庁関連の受注は減少しましたが、運輸業や生損保などの主要顧客からの受注は安定的に推移しました。また、生産性向上にも取り組みました。この結果、売上高は3,371百万円(同4.4%増)、営業利益205百万円(同42.2%増)となりました。

④NID・IS

当事業では、データ入力関連の受注は電力関連の顧客を中心に増加しましたが、システム開発の受注は減少しました。この結果、売上高は1,874百万円(同0.3%減)、営業利益126百万円(同23.1%増)となりました。

⑤NID・IE

当事業では、官公庁関連の受注が減少しました。この結果、売上高は564百万円（同8.3%減）、営業利益48百万円（同24.0%減）となりました。

⑥NID東北

当事業では、震災の影響による停滞が依然として継続し、厳しい状況で推移しました。また、一部不採算プロジェクトも発生しました。この結果、売上高は359百万円（同23.5%減）、営業損失52百万円（前年同四半期は4百万円の営業利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金並びに売掛金の減少、仕掛品の増加等により、前連結会計年度末に比べ420百万円減少し、8,305百万円となりました。固定資産は本社移転に伴う有形固定資産の増加、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ377百万円増加し、2,760百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ42百万円減少し、11,066百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、短期借入金の増加、賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末に比べ238百万円減少し、1,989百万円となりました。固定負債は退職給付引当金の増加等により、前連結会計年度末に比べ42百万円増加し、2,659百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ195百万円減少し、4,649百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ152百万円増加し、6,417百万円となりました。

この結果、自己資本比率は58.0%（前連結会計年度末は56.4%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月5日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更等

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ5,391千円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,553,362	5,374,387
受取手形及び売掛金	2,286,093	1,811,988
有価証券	1,039	1,039
仕掛品	272,815	517,167
繰延税金資産	434,780	220,360
その他	178,000	380,955
流動資産合計	8,726,091	8,305,899
固定資産		
有形固定資産		
土地	136,767	136,767
その他(純額)	111,069	291,612
有形固定資産合計	247,836	428,380
無形固定資産		
ソフトウェア	214,467	201,145
その他	43,854	22,323
無形固定資産合計	258,322	223,469
投資その他の資産		
投資有価証券	423,538	845,737
繰延税金資産	900,829	896,714
差入保証金	476,747	257,895
その他	75,646	108,457
貸倒引当金	△275	△275
投資その他の資産合計	1,876,487	2,108,529
固定資産合計	2,382,647	2,760,379
資産合計	11,108,738	11,066,279

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	322,266	312,875
短期借入金	—	410,000
未払金	348,718	443,444
賞与引当金	894,031	438,747
その他	662,358	384,163
流動負債合計	2,227,375	1,989,231
固定負債		
退職給付引当金	2,104,396	2,155,657
役員退職慰労引当金	402,300	405,237
その他	110,235	99,031
固定負債合計	2,616,932	2,659,925
負債合計	4,844,307	4,649,157
純資産の部		
株主資本		
資本金	653,352	653,352
資本剰余金	488,675	488,675
利益剰余金	6,403,131	6,532,484
自己株式	△1,226,363	△1,226,363
株主資本合計	6,318,795	6,448,149
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△54,364	△31,027
その他の包括利益累計額合計	△54,364	△31,027
純資産合計	6,264,430	6,417,122
負債純資産合計	11,108,738	11,066,279

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	10,626,825	11,102,167
売上原価	8,787,453	9,132,616
売上総利益	1,839,372	1,969,551
販売費及び一般管理費	1,322,626	1,376,766
営業利益	516,745	592,784
営業外収益		
受取利息	95	67
受取配当金	6,715	10,255
受取保険金	2,353	8,647
助成金収入	8,236	3,635
その他	5,604	5,528
営業外収益合計	23,006	28,133
営業外費用		
支払利息	1,143	1,154
投資事業組合運用損	627	—
投資管理費用	1,935	1,876
その他	100	131
営業外費用合計	3,806	3,162
経常利益	535,945	617,755
特別利益		
固定資産売却益	101	—
特別利益合計	101	—
特別損失		
固定資産除却損	171	25,010
会員権評価損	3,900	—
本社移転費用	—	75,123
その他	573	5,798
特別損失合計	4,645	105,933
税金等調整前四半期純利益	531,402	511,822
法人税、住民税及び事業税	25,862	6,701
法人税等調整額	330,939	205,415
法人税等合計	356,802	212,117
少数株主損益調整前四半期純利益	174,599	299,705
四半期純利益	174,599	299,705
少数株主損益調整前四半期純利益	174,599	299,705
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,003	23,337
その他の包括利益合計	△26,003	23,337
四半期包括利益	148,596	323,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148,596	323,043

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計
	通信システム事業	情報システム事業	ネットワークソリューション事業	NID・IS	NID・IE	NID東北	
売上高							
外部顧客への売上高	2,331,209	2,100,408	3,228,362	1,880,996	615,876	469,972	10,626,825
セグメント間の内部売上高又は振替高	26,879	38,892	69,734	356,362	508,219	26,672	1,026,763
計	2,358,089	2,139,301	3,298,097	2,237,359	1,124,096	496,644	11,653,589
セグメント利益又は損失(△)	2,661	193,402	144,697	102,821	64,160	4,547	512,291

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	512,291
セグメント間取引消去	2,258
全社費用(注)	9,848
その他	△7,652
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	516,745

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計
	通信システム事業	情報システム事業	ネットワークソリューション事業	NID・IS	NID・IE	NID東北	
売上高							
外部顧客への売上高	2,632,832	2,298,802	3,371,627	1,874,855	564,747	359,301	11,102,167
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,999	1,729	32,496	323,532	516,696	97,313	990,768
計	2,651,832	2,300,532	3,404,124	2,198,387	1,081,444	456,614	12,092,936
セグメント利益又は損失(△)	104,131	159,120	205,823	126,624	48,758	△52,653	591,805

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	591,805
セグメント間取引消去	2,927
全社費用(注)	△1,505
その他	△443
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	592,784

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更したため、報告セグメントの減価償却方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更の対象となる平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産はほとんどが全社資産であり、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の各セグメント利益及び損失に与える影響は軽微であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。